



神戸学院大学人文学部

1 回生矢嶋ゼミ

◆古紙回収班◆

大智優一

勝山将吾

山本育美

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

2013 年度地域研究プロジェクト

“八百屋のてっぺん” 代表 辰巳太一氏の夢

辰巳氏は、“八百屋のてっぺん”の新しい店舗を展開していきたいという。「まずは明石に5店舗ほど出したい。そのあとは、人の多く集まる東のほうへも出したい！！」と、目を輝かせて語った。

また、八百屋だけにとどまらず、飲食業もしたいとの野望も語ってくれた。

現状に満足せず、常に新しいことに挑戦しようとする姿に感銘を受けた。



稲爪神社の祭りにかける思い

稲爪神社の祭りには、小学2年生くらいのころから関わっているという。昔は、祭りというとはしゃぐことが出来るものだという感覚だったが、今では立場も上になり、祭りがよりよいものになるよう冷静に考えるようになったそうだ。辰巳氏は、「祭りは、若い人にいっぱいしゃいでもらって、楽しんでもらえると嬉しい。」と言う。また、「自分の子供にも参加してもらいたい。」と話したときの父親としての優しい表情がとても印象的であった。

また、学院生が祭りに参加していることについては、盛り上がるのでとても嬉しい、と語ってくれた。



子供のころは、なすやピーマンが嫌いだったそうだ。現在は食べられるようになったが、肉を食べることのほうが多いという。